

手をつなごう

平成18年10月30日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 18

第3回備前地域特別支援教育 コーディネーター講座開催！ 10月25日

1回目に引き続き岡山市立石井小学校の青山先生に「子どもの見方とポイント—エピソードの読み解き方」と題してお話をいただきました。

エピソードを読み解く視点を提示していただき、各自がまとめてきたエピソードをその視点で見るとどうだろうかという演習も取り入れながら、子どもの見方について深めていきました。また、そうして子どもの見方を整理していくことで支援の方法も見えてくること、現れた行動をどう解釈するかだけでなく、本人の気持ち・内面にも目を向けることを忘れてはならないことも教えていただきました。



アンケートより

- ・ 解釈のとらえ方と支援への流れが非常によくわかりました。
- ・ 今まで知りたかったことを学ぶことができ大変ありがたかった。
- ・ 青山先生のお話をとても楽しみに参加させていただきました。
- ・ 支援の視点をふまえて支援計画を立ててみようと思いました。「～したら～なった」という用紙を準備し、全職員に記入をお願いしています。どのくらい協力が得られるか、こちらからも再度アピールする必要があるなど話をお聞きして感じました。
- ・ 青山先生のお話はとても興味深く、言葉の裏に子どもあるいは人を観るプロの眼と瞬時に判断する洞察力があるように思え、尊敬の念を持つほどです。中学校では支援コーディネーターの対象は、障害があるかどうかという視点より、素行不良の生徒も入っており、校内でどう自分が動けばよいのか答えを探りながら今回も聞きました。
- ・ 分類に、具体的事例を交えて説明していただき分かりやすかったです。具体的な子どもたちの姿を思い浮かべて聞かせていただきました。子どもを見る視点も多様にしていく必要を感じました。
- ・ 様々な視点を学ばせていただきました。子どもたちの実態把握をもう一度整理してみようと思います。
- ・ 7月にお話を聞いて、校内で先生方と一緒にポストイットに子どもたちの様子を書き込みました。学校・家庭・その他で分類してみましたが、その後どうしたらいいのかな？とストップしていました。今日はいろいろな視点を具体的に教えていただき、ちょっとスッキリ！！また前に進めそうです。
- ・ エピソードを細かい状況から分析していくこと、それを読み解く視点や支援の方法について、ていねいに事例を挙げて説明してくださったのでよく分かりました。また、各事例への的確なアドバイスもあり、学校で対応について考えていきたいと思います。

お薦め図書コーナー —読んでみませんか？—

「子どもの心の病気がわかる本」
東京都立梅ヶ丘病院院長市川宏伸 監修

「あって当たり前」のことから「本格的な手助けが必要」という状態まで、子どもの心にトラブルが生じたときの対応策がわかりやすくまとめられています。イラストも豊富で、とても読みやすいのが特徴です。それでいて専門的な事柄もきちんと説明されています。子育てに悩むお母さんから、学級に気になる子どもがいる先生まで、是非一度読んでいただきたい本です。
税別1200円です。

